

編集後記

『文化』第二十三号をお届けいたします。今回も諸先生方のご協力により、陰陽道や祖先崇拜からシェリング、ヘーゲルの哲学に至るまで、多岐にわたる意欲的なご論考をお寄せいただきました。ここに心より感謝申し上げます。そのうちの二編は、それぞれ昨年四月と七月に駒澤大学で開催されましたフイーベック先生とハーン先生のご講演の原稿に基づく翻訳です。このように多岐にわたるテーマを扱ったご論考を『文化』に掲載することができますのも、それはそのまま文化学教室のこれまでのあり方の反映によるものとも申せましょう。これからも諸先生方のご協力のもと、こうした文化学教室の伝統としてのいわば「多元主義」が『文化』誌上において反映されていきますことを願ってやみません。(河)

駒沢大学 文化 第二十三号

平成十七年三月三十一日 発行

編集者 駒沢大学文学部文化学教室

代表 末木 恭彦

印刷所 平河工業社

発行所 駒沢大学

東京都世田谷区駒沢一―二三―一

電話 (〇三) 三四一八一―九二―一